

令和元年度 北九州市発達障害者支援モデル事業報告書

行動障害の予防における効果的な支援手法の開発

I. 事業要旨

このプログラムの目的は、行動障害がある発達障害児者を持つ家族に対して、家族を含む関係者会議や家庭へのコンサルテーションを行うことにより、家族が本人に対する関わり方を学び、本人が家庭の中で安定して生活することである。

平成 26 年度から令和元年度までは、福祉サービス事業所や教育関係等の支援者を対象とした研修会を開催した。平成 26～27 年度は実践報告やシンポジウムを行い、平成 28～令和元年度は行動分析に関する基礎講義と事例検討の演習、参加者からの実践報告等のフォローアップ研修会を行った。6 年間継続した結果、温度差があるものの、研修会で学んだことを、現場の中で実践するようになった事業所がみられだした。その一方で、行動障害がある自閉症児者をもつ家族の中には、子どもへの対応方法が分からず、あるいは知っていても家族が実行することが難しいため、途方に暮れている事例がある。また、家庭で生活することが困難になり、施設入所あるいは精神科病院に入院する場合もある。そのため今年度は、知的障害があり行動障害のある自閉症児の家族を対象として、家庭へのコンサルテーションを行うこととした。

事業を実施するに当たって、ワーキンググループを立ち上げ、事業内容に対する意見をもらった。その結果、家庭支援は、①家族や相談支援事業所、学校、放課後デイサービス事業所等本人を取り巻く関係者で支援会議を行い、特性等の共通理解及び統一した支援を行う、②支援計画は、(1)「一日を過ごしやすくするための取り組み」という視点、(2)本人の気持ちに寄り添う支援、(3) (1)、(2)のためには、環境の構造化等による受容性コミュニケーションと意思決定等表現性コミュニケーションの取り組み、行動観察による機能分析の取り組みが必要である、という意見であった。

加えて、家庭支援を行うには、家庭で実施可能な取り組みや親の気持ち等を理解しておくことが必要であるという意見があがったため、自閉症児者をもつ母親 6 名へインタビューを行った。分析の結果、知的障害があり行動問題がある自閉症児者への母親の関わりは、《子どもに必要な関わり方が分かっている》プロセスであることが分かった。また、得られた内容を、1. 家族への支援、2. 親が子どもに必要な関わり、3. 地域支援体制整備に分類した。

ワーキンググループや母親へのインタビュー調査結果、及び企画・推進委員会の意見を基に、事業を実施していくこととした。

今年度は、昨年度からの対象児である、睡眠の乱れ・自傷・他害行動・かんしゃく等がある、特別支援学校小学部 2 年生 8 歳の男児を持つ家庭と、自傷・他害

行動・パニック等がある、特別支援学校小学部6年生の男児を対象とすることとした。2事例とも、北九州市が発行しているサポートファイル「りあん」をアセスメントツールとして、つばさが家庭、学校、放課後等デイサービス事業所等を訪問して、情報収集を行った。その後、母親・関係機関で支援会議を行い、情報の共有及び支援目標の抽出、支援方法を決定した。2事例とも支援目標は、母親の要望も考慮し、身辺自立・行動問題・表出性コミュニケーションに関する目標を抽出した。年度途中及び年度末に係関係者会議を行い、支援目標の経過及び今後の支援について協議した。支援目標は一部を除き家庭・学校・各事業所で実施されており、行動問題は軽減していた。その後、母親へのインタビュー及び関係機関へのアンケート調査を行った。その結果、サポートファイル「りあん」を使用することや関係者会議を実施し、支援目標や手立ての統一化を図ることの有効性をほぼ全員が認識していた。

2年間実施した結果、サポートファイル「りあん」を活用して、家族を含む関係者会議を行うことは、情報や対応方法の共有化を図り、支援目標に対して統一した取り組みを行う上で有効であった。

II. 事業目的

行動障害のある発達障害児者を持つ家族に対して、家族を含む関係者会議やチームによる家庭へのコンサルテーションを行うことにより、家族が本人に対する関わり方を学び、本人が家庭の中で安定して生活することを目的とする。

III. 事業の実施内容

家庭支援に関する事業を実施するに当たっては、各方面からの意見を参考にして計画を立てることが望ましいと考え、ワーキンググループを立ち上げ、会議を4回行った。その結果、家庭支援は、①家族や相談支援事業所、学校、放課後等デイサービス事業所等本人を取り巻く関係者で支援会議を行い、特性等の共通理解及び統一した支援を行う、②支援計画は、(1)「一日を過ごしやすくするための取り組み」という視点、(2)本人の気持ちに寄り添う支援、(3)(1)、(2)のためには、環境の構造化等による受容性コミュニケーションと意思決定等表現性コミュニケーションの取り組み、行動観察による機能分析の取り組みが必要である、という意見であった。

また、家庭支援を行うためには、家庭で実施可能な取り組みや親の気持ちを理解しておくことが必要であるという意見があがったため、行動問題があるものの、比較的安定している自閉症児者をもつ6名の母親へインタビューを行った。その結果、知的障害があり行動問題がある自閉症児者への母親の関わりは、《子どもに必要な関わり方が分かっていく》プロセスであることが分かった。《子どもに必要な関わり方が分かっていく》とは、【子どもに合った対応を追求する】、【子どもが安心する対応を理解していく】、【子どもに合った対応を認識する】を、何度も何度も繰り返すサイクルであった。また、インタビュー調査結果から得られ

た内容を、1. 家族への支援、2. 親が子どもに必要な関わり、3. 地域支援体制整備に分類して表1に示す。

表1 6名の母親へのインタビュー調査結果

| カテゴリー | 内容 |
|---------------|---|
| 家族への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ①子どもが乳幼児期から、家族が継続的に学ぶ場（知識・実践） ②家庭へのコンサルテーションを行う専門家（担当者、相談機関、民間専門家） ③母親が気兼ねなく参加できる居場所（保護者同士の集まり、親の会など） ④家族の大変さに寄り添い、労うことができる専門家（担当者、相談機関、民間専門家など） |
| 家族が子どもに必要な関わり | <ul style="list-style-type: none"> ①視覚的に伝える（スケジュール、説明など） ②子どもからの表現性コミュニケーションの手立て ③子どもの意思を尊重する ④好きな活動を保障する ⑤こだわりにつき合う ⑥苦手さを把握し、事前準備を入念にし、成功体験を積み上げる |
| 地域支援体制 | <ul style="list-style-type: none"> ①専門家の育成 ②知的障害があり、行動障害があるASD児者をもつ家族が学ぶ場 ③家族同士で相談できる場 |

今年度は、昨年度からの対象児である、睡眠の乱れ・自傷・他害行動・かんしゃく等がある、特別支援学校小学部2年生8歳の男児（事例1）を持つ家庭と、自傷・他害行動・パニック等がある、特別支援学校小学部6年生の男児（事例2）を対象とすることとした。

2事例とも、北九州市が発行しているサポートファイル「りあん」をアセスメントツールとして、つばさが家庭、学校、放課後等デイサービス事業所等を訪問して、情報収集を行った。その後、母親・関係機関で支援会議を行い、情報の共有及び支援目標の抽出、支援方法を決定した。2事例とも支援目標は、母親の要望も考慮し、身辺自立・行動問題・表出性コミュニケーションに関する目標を抽出した。年度途中に関係者会議を再度行い、支援目標の結果及び今後の支援について協議した（資料2-2、2-3）。

支援目標については、対象児の年齢や状況、母親の希望、関係機関での状態等を考慮し、事例1については、昨年度と同じ課題である身辺自立（排泄、食事）、

コミュニケーション（受容性：「だめ」の伝え方、表現性：写真カードを使って、大人に伝える）、行動問題（胸を触ることへの対応）を具体的課題とした。翌年3月に再度関係者会議を行い、支援経過の確認を行った。事例2は、身辺自立（排泄）、コミュニケーション（表出性：本人から発信するコミュニケーション手段を増やす）、生活面（生活リズムを整える）、行動問題（人前で性器を触ることを減らす、落ち着いて過ごすことができる日を増やす）を課題とした。

効果検証に関しては、母親へのインタビュー及び関係機関へのアンケート調査（資料2-4）を行った。

IV. 分析、考察

1. 調査結果

① 母親へのインタビュー調査結果

年度末の関係者会議終了後、母親2名へインタビュー調査を行った。その結果を、表2に示す。

表2 母親2名へのインタビュー調査結果

| 項目 | 質問内容 | 結果 |
|----------------------|---|--|
| 1. 支援目標について | ①目標について、家で実行できましたか。 | 半分くらい実行できた。(2) |
| | ②支援目標を家で実行することは、負担でしたか。 | 負担ではない。無理なくできる範囲で行った。(2) |
| | ③②で「負担」の場合は、具体的に教えてください。 | |
| | ④より負担なく実行するには、どのようにすればよいと思いますか。 | |
| 2. サポートファイル「りあん」について | ①サポートファイル「りあん」を活用することは、有効でしたか。 | とても有効であった。(2) |
| | ②「有効である」の場合、具体的に教えてください。 | ・過去と現在の状況を比較しやすい。それによってどういった時に、どういう傾向があるのか判断しやすい。 ・今後新たな関わりを持つ方へ、本人の性格や行動を理解してもらいやすい。 |
| | ③「有効ではない」場合、具体的に教えてください。 | |
| | ④サポートファイル「りあん」に変わるものとして、どのようなツールが適当だと思いますか。 | 電子化(スマートフォンやアプリ)すれば、もっと多くの人が手軽に利用すると思う。 |
| 3. 関係者会議 | ①関係者会議で協議することは、有効でしたか。 | とても有効であった。 |

| | | |
|--------|--|--|
| | ②「有効である」の場合、具体的に教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・皆で把握できるので、一貫した療育ができることや、共有する事で刺激を受け、励みや意欲が上がり、すべてにとってプラスになっている。 ・普段の連絡帳以外の様子を知ることができて、学校で上手く行えている事等、事業所の方にも取り入れられるので、とても有効である。 |
| | ③「有効ではない」場合、具体的に教えてください。 | |
| 4・その他、 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係者会議は、本当に子ども自身にも、親にも、関係者にとっても、とても意味のあるもので、有意義なものになっている。 ・りあんに関しては、利用している人はほとんどいない。今回のことで、自分はとても便利でいいものだと実感している。もっと多くの人に利用してもらうには、電子化によって手軽で便利に、担当者皆で共有できるようになればいいと思う。 | |

② 関係機関へのアンケート調査結果

年度末の関係者会議終了後、特別支援学校、放課後デイサービス事業所、相談支援事業所へアンケート調査を行った。その結果を、表3に示す。

表3 関係機関へのアンケート調査結果（アンケート数7人）

| 項目 | 質問内容 | 結果 |
|--------------|---------------------------------|--|
| 1・支援目標について | ①目標について、学校（事業所）で実行できましたか。 | 実行できた。（5） 直接支援ではない。（2） |
| | ②支援目標を学校（事業所）で実行することは、負担でしたか。 | 負担ではなかった。（5） 直接支援ではないので分からない。（1） |
| | ③②で「負担」の場合は、具体的に教えてください。 | 負担ではないが、難しさを感じる。 |
| | ④より負担なく実行するには、どのようにすればよいと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・他事業所等の取り組みを聞き、絵カードを取り入れようと思った。 ・一か所に集約する取組があれば、より良い。 |
| ト 2・サポートファイル | ①サポートファイル「りあん」を活用することは、有効でしたか。 | 有効である。（5） 無回答（1） 有効ではなかった。（1） |
| | ②「有効である」の場合、具体的に教 | ・家、学校、事業所と、情報が共 |

| | | |
|-----------------|---|---|
| | えてください。 | 有できた。(6) <ul style="list-style-type: none"> ・幼少期からの経過を知ることができる。 ・一日の流れや実態が、分かりやすく記載されている。 ・新人職員が本人の情報を把握するには、とても有効である。 ・同じ項目に対して、それぞれの事業所がどう対応しているのか分かりやすかった。 ・アセスメントを深めることができた。 |
| | ③「有効ではない」場合、具体的に教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・見やすい場所に置いていなかったことや、見る頻度が少ないため、内容を忘れてしまうことがあった。 ・成長期であるため、情報が現在と異なる所がある。 |
| | ④サポートファイル「りあん」に変わるものとして、どのようなツールが適当だと思いますか。 | |
| 3. 関係者会議について | ①関係者会議で協議することは、有効でしたか。 | 有効(7) |
| | ②「有効である」の場合、具体的に教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家、各機関での、本児の実態が分かる。 ・他機関の進捗状況を把握できたと共に、情報共有することで、同じベクトルに向かって、目標設定できた。 ・各機関の支援方法を検討することができる。 ・家族の思い、本人の成長を皆で共有する機会がなかなかないので、大変良い。 ・各機関で一貫性のある支援ができる。 |
| | ③「有効ではない」場合、具体的に教えてください。 | |

| | |
|----------------|--|
| 4. その 他、 | <ul style="list-style-type: none"> ・関わり方によって、子どもの成長が変わると思うので、良い取り組みはドン ドン取り入れたいと思う。 ・支援の経過の確認を、もう少し短期間でできると、もっと統一した支援が できると思う。 |
|----------------|--|

2. 考察

今年度は、昨年度からの対象児である、睡眠の乱れ・自傷・他害行動・かんしゃく等がある、特別支援学校小学部2年生8歳の男児を持つ家庭と、自傷・他害行動・パニック等がある、特別支援学校小学部6年生の男児を持つ家庭を対象として、事業を実施した。ワーキンググループや6名の母親へのインタビュー調査結果及び企画・推進委員会の意見を基に、サポートファイル「りあん」を活用して、身近自立・行動問題・表出性コミュニケーションに関する目標を抽出した。年度末の関係者会議では、支援目標は家庭・学校・各事業所で一部を除き実施されており、行動問題は軽減していることを確認した。

母親へのインタビューや関係機関へのアンケート調査結果からは、「1. 支援目標について」は、母親と直接支援を行っているスタッフは、全員実施できしており、ほぼ負担ではなかったと回答している。また、「より負担なく実行するには」、「一か所に集約する取組があればより良い」という意見があった。

「2. サポートファイルりあんについて」は、1名を除き「有効であった」と回答している。具体的には、全員が「家、学校、事業所の情報が共有できた」という意見であった。また、「幼児期からの経過を知ることができた」「一日の流れや実態が、分かりやすく記載されている」「新人職員が本人の情報を把握するには、とても有効である」「アセスメントを深めることができた」という意見もあった。

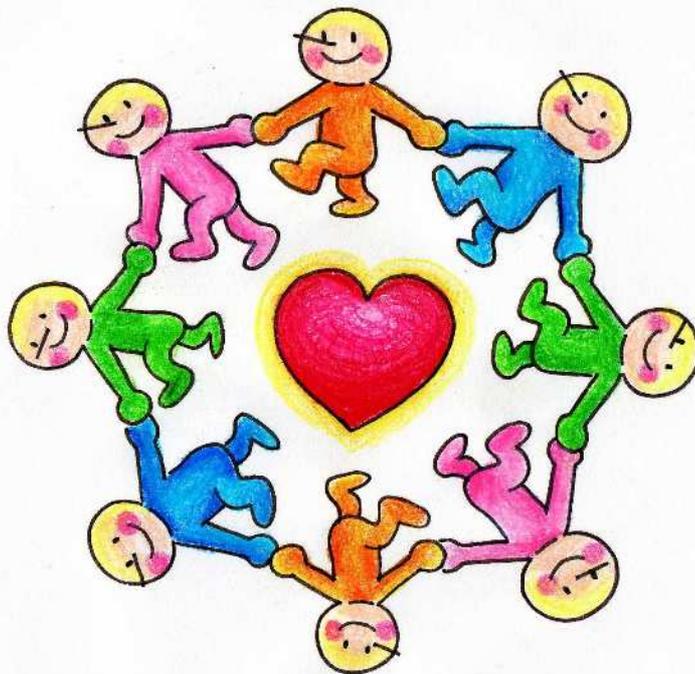
「3. 関係者会議について」は、全員が「有効」と回答している。具体的には、「家、各機関での本児の実態が分かる」「他機関の進捗状況を把握できたと共に、情報共有することで、同じベクトルに向かって目標設定できた」「家族の思い、本人の成長を皆で共有する機会がなかなかないので、大変良い」という意見があった。その反面、事前準備に対する意見もあった。

2年間実施した結果、サポートファイル「りあん」を活用して、家族を含む関係者会議を行うことは、情報や対応方法の共有化を図り、支援目標に対して統一した取り組みを行う上で有効であった。

～人と支援をつなぐ～

A君 サポートファイル

り あ ん



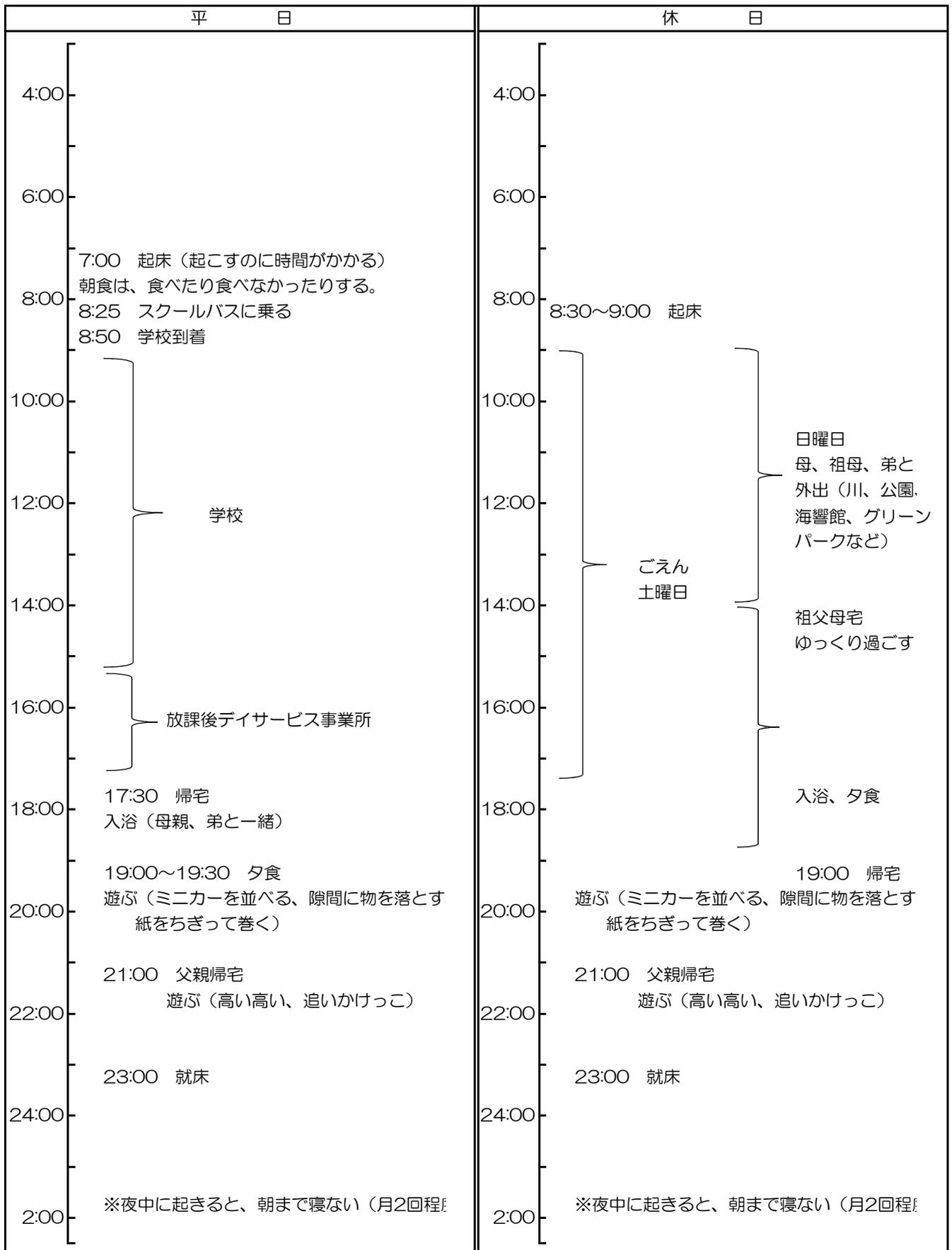
「りあん」とは？

「りあん」とは、フランス語で「^{きずな}絆」を意味します。
つながりを広げながら、よりよい支援に役立てていけることを願
って作成されました。

北九州市

●現在のスケジュール

(年 月 日 現在)



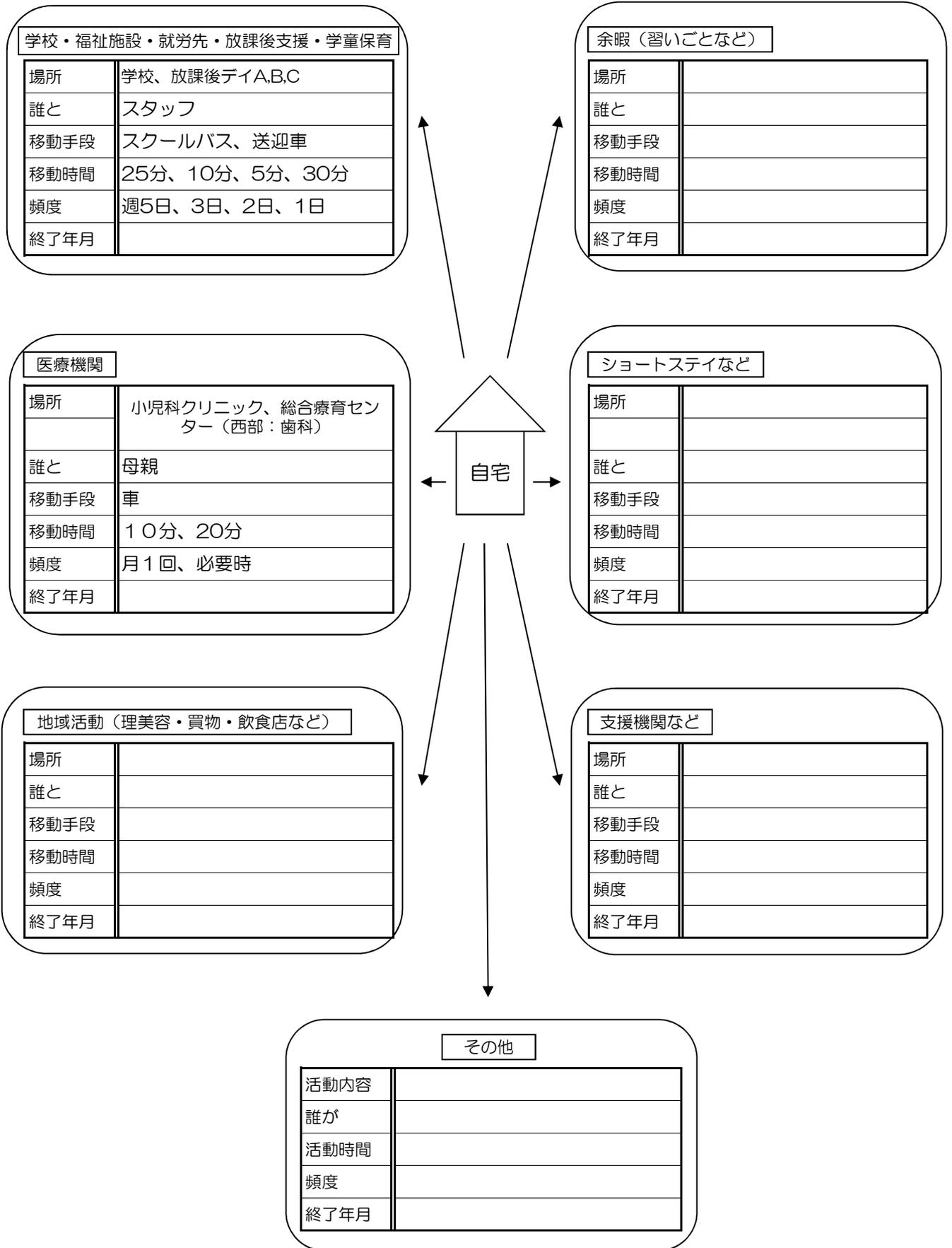
| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------------------------|---|
| 週間予定 | 放課後デイA (13:25) | 放課後デイA (15:20) | 放課後デイB (14:05) | 放課後デイA (13:25) | 放課後デイB (15:20) | 放課後デイC (9:00~ 17:30) | |

() さんのファイル 記入者氏名 () 続柄 () 記入年月日 (年 月 日)

●現在の生活地図（ 年 月 日 現在）

※ 普段の生活の範囲などを記載します。

※ 支援者が自宅へ訪問の場合は、その他に記入します。



（ ）さんのファイル 記入者氏名（ ） 続柄（ ） 記入年月日（ 年 月 日）

●私の姿

(年 月 日 現在)

※ 本人が望んでいることを記入します。

私が安心できる場所や時間は

- 1 自分が興味のあるものがある部屋 (A)、ミニカーを並べる場所
- 2 2階 (家)
- 3 学習エリアでオモチャで遊ぶ (学)

私が嫌な場所や時間は

- 1 _____
- 2 _____
- 3 _____

私が好きな事は

- 1 ミュージックケア、壁と棚の間に物を入れる
- 2 紙ちぎり (家,C)
- 3 オンブ (家)、大きなトランポリン (学)、走る・プール遊び・ビニールちぎり (A,C)
ビニールテープちぎり (A)



私が苦手な事は

- 1 制止されること (家)
- 2 _____
- 3 本人が並べた物を何も言わずに片づけること

私がやりたいことや希望は

- 1 _____
- 2 _____
- 3 _____

過ごしやすいようになるために

- 1 安心グッズを持って、活動に参加 (学)
- 2 小さな声で伝える、ほめる (学)
- 3 一人で遊ぶ時間、同世代の男児と遊ぶ (A) 無理強いしない (B)
絵カードを使って、プログラムに促す。
その枠の中で活動する。 (C)

信頼できる人に伝えたい事は

- 1 紙ちぎりやビニールちぎりをする場所を、明確にしてほしい。
- 2 _____
- 3 _____

()さんのファイル 記入者氏名 () 続柄 () 記入年月日 (年 月 日)

いいとこみつけ

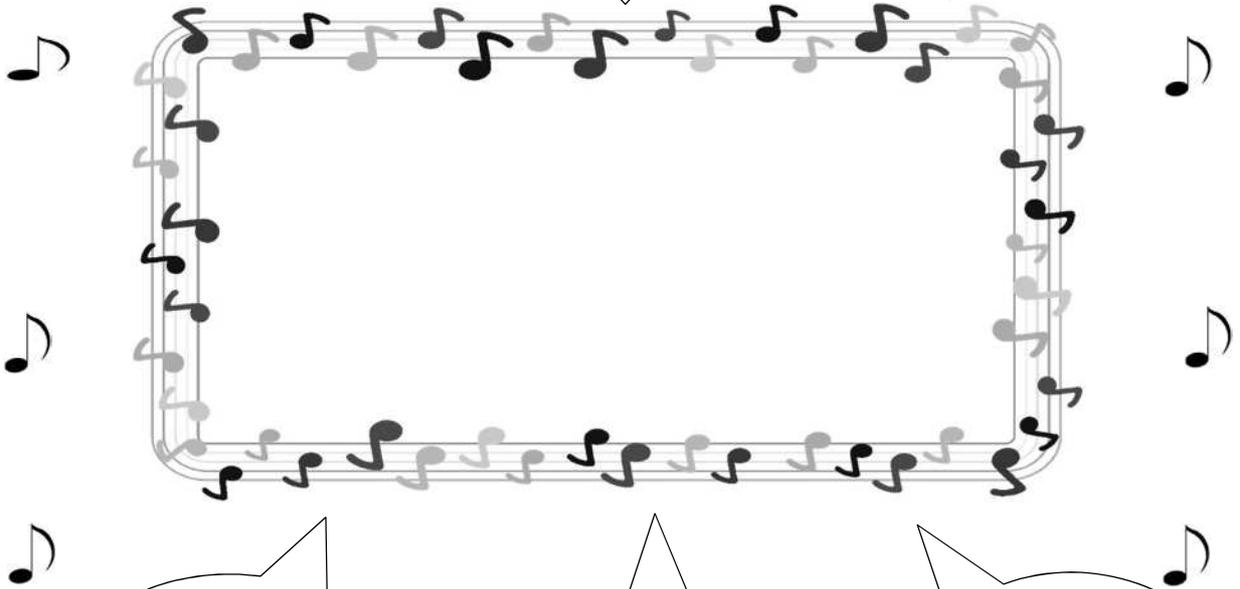
性格・〇〇が得意・〇〇がすき・いいとこたくさん書いてみよう！



自分から要求
する

すなお

笑顔が
多くなった



オシッコの失
敗が減った。
ウンチができ
ようになった。

スタッフが意図
することができ
やすくなった

外に飛び出
すのが減っ
た

優しい

手を繋ぐと沢
山走る

どのスタッフで
も応じてくれる

() さんのファイル 記入者氏名 () 続柄 () 記入年月日 (年 月 日)

II. 現在の状態 ①

●所属機関

| | |
|------------|----------|
| 所属機関名（学年）： | 所属機関先： 〒 |
|------------|----------|

●健康

| |
|---|
| ●身長（ 120 ） cm ・ 体重（ 27 ） kg ・ 平熱（ ）度 |
| ●現在の健康状態 < 心臓疾患・てんかん発作・ぜんそく発作・アトピー・その他の疾患（ ） > |
| 具体的な症状と対処方法： |
| |
| ●アレルギーの有無 < 食物・動物・植物・ハウスダスト・その他（ ） > |
| 具体的な症状と対処方法： |
| |
| ●服薬の有無 < <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 > ※医療機関に関する情報は、P28 へ。 |
| 管理・服薬の仕方： 母親が飲ませる |
| |
| ●「痛み」「不快」（頭痛・歯痛・吐き気・熱・鼻血などの症状）の訴え方 |
| 観察のポイントと対処方法： |
| |
| ●治療に関しての特記（治療に関する約束や手順など） |
| |
| ●睡眠について |
| 週1回は乱れる。夜中に起きて、朝方寝る。弟が起きるため、目が覚めることもある。 |
| →日中、落ち着かない。30分から1時間昼寝することもある。 |

●食事

| |
|--|
| ●食欲や偏食（ <input checked="" type="radio"/> あり ・ なし ） |
| 白米は味をつけて食べる。野菜が随分食べられるようになった。（細かくきざんだ、和食） |
| ●好きな食べ物・飲み物（成人期の場合は、嗜好品も含む） |
| （学）食パン、マーガリン、汁（コンソメ・味噌汁）、煮魚、肉、ししゃも、レバー（A）カレー、グミ、チップスター |
| マシュマロ（お菓子の幅が広がった）（C）おにぎり、トンカツ、カレー、トンカツソース、つけもの、スルメ、新しい物を |
| 食べたがる、（家）焼肉、麺類（ソーメン、そばなど）、魚 |
| ●苦手な食べ物・飲み物 |
| 牛乳 |

（ ）さんのファイル 記入者氏名（ ） 続柄（ ） 記入年月日（ 年 月 日）

●日常生活能力

| 項目 | 一人でできる | 部分的にできる | できない | 備考（必要な援助等） |
|---|--------|---------|------|--|
| 例) 服を着る | | ○ | | 例) ボタン付きの服は使えない |
| ●食事 ↓本人が食べだすと、フォークを渡す。（学） | | | | |
| 1 スプーンやフォークで食べる | | ○ | | スプーン・フォーク練習中（上手握り）（家、B）手づかみ |
| 2 箸で食べる | | | | （C）トンカツにフォークを刺して渡すと、自分で食べる |
| ●排泄 ↓殆ど自発。前を押さえると大人が声かけ。1～2時間もつ（学） ↓（A、C）自発が増える、（B）お腹を叩くサインで誘導 | | | | |
| 1 トイレで排尿する | | ○ | | 定時（1時間）誘導、サインがある（モソモソする） |
| 2 トイレで排便する | | ○ | | オムツに中である、パンツに失敗する（学、A）軟便 |
| 3 排尿・便の後始末を適切にする | | | ○ | |
| 4 生理の後始末をする | | | | |
| ●セルフケア | | | | |
| 1 顔を洗う | | | ○ | 母親がタオルで拭く |
| 2 歯磨きをする | | ○ | | 歯ブラシを噛む |
| 3 髪を整える | | | ○ | |
| 4 ひげを剃る | | | | |
| 5 爪を切る | | | ○ | |
| 6 入浴し、髪や体を洗う | | | ○ | |
| 7 体を拭いたり、髪を乾かす | | | ○ | |
| 8 不調を訴える | | | ○ | |
| 9 汚れた衣服を自発的に着替える | ○ | | | |
| 10 薬の管理をする | | | ○ | |
| ●着脱 | | | | |
| 1 服を脱ぐ | ○ | | | |
| 2 服を着る | | ○ | | セットしておくパンツ・スポンは着る。上は、持たせて腕を少し押すと着る。（学） |
| 3 季節やTPOに合わせた服を選ぶ | | | ○ | ↑（A）床等に置いた状態で着る、（C）前後を定めて渡す |
| 4 靴下や靴を履く | | ○ | | と、自分で着る。 |
| ●家事 | | | | |
| 1 洗濯をする | | | | |
| 2 掃除をする | | | | |
| 3 食器を洗う | | | | |
| 4 買物をする | | | | |
| 5 簡単な調理をする | | | | |
| ●その他 | | | | |
| 1 ひとりで留守番をする | | | | |
| 2 戸締りをする | | | | |
| 3 金銭管理をする | | | | |
| 4 公共交通機関を利用する | | | | |
| 5 電話をかける | | | | |
| 6 時計を見て時間がわかる | | | | |
| 7 カレンダーを見て月日や曜日がわかる | | | | |
| 8 スポーツや旅行など趣味の活動を行う | | | | |
| 9 火や刃物などの危険物を認知する | | | | |
| 10 自由な時間を一人で過ごす | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

●人との関わり

| |
|--|
| ●家族との関わり： |
| 父親とは毎日遊ぶ。母親・弟と一緒に寝る。 |
| ●友人（同世代の人）との関わり： |
| 特定の生徒と追いかけてっこをする（学）、同世代の男児に関わるが増えた（A）、自分からは関わって行かない（B、C） |
| ●周りの大人（先生や支援者など）との関わり： |
| 大人には自分から関わる、どのスタッフとも遊ぶ（B）男性スタッフが好き（A） |
| 好きなスタッフ（本人のことを理解している人）がはっきりしている、関わるスタッフの幅が広がった |
| ●知らない人との関わり： |
| 初めての人には、自分から関わらない →顔を覗き込むようになった。 |
| 女性スタッフが好き。（胸が好き）（学） |
| ●社会的常識・ルールを理解： |
| |
| |

●コミュニケーション

| | |
|-----------------------------|-------------------------|
| ◇主なコミュニケーションの方法（○をつける） | |
| 実物 絵 写真 文字 言葉 ジェスチャー その他（ ） | |
| ●本人から相手に伝えるとき | ●相手から本人へ伝えるとき |
| 《要求》 | 《要求》 |
| 手を引っ張っていく、クレーン | 具体物、ジェスチャー、ことばかけ |
| 「ちょうだい」のジェスチャー（B、C） | ことばと写真カード（学） |
| 写真カード（好きな遊び）（学）絵カード交換式 | 写真カード（C） |
| 全力で走る（お菓子を開けて欲しい）（A） | |
| 「あー」と声を出す（C） | |
| 《注意喚起》 | 《注意喚起（気づいてほしいとき）》 |
| （家）手を引っ張る | 名前を呼ぶ |
| | |
| | |
| | |
| 《拒否の仕方》 | 《してはいけないことの伝え方》 |
| 首を振る、手を振る、座り込む、動かない | （家）「駄目だよ」と言い、場所を変える |
| 寝転んで泣く、叫ぶ、自分の頭を叩く | （学）ことばと絵カード |
| その場から離れる（工作）（A） | （A）ことばとジャスチャー（腕で×マーク） |
| 泣く、床に寝そべる（C） | （B）ことばとジャスチャー（腕で×マーク） |
| 寝転んで泣く、叫ぶ（学） | （C）ことばとジェスチャー（指で×マーク） |
| 《その他（特徴、支援のてがかり）》 | 《その他（特徴、支援のてがかり）》 |
| | 「バツ」ということばでわかるようになった（A） |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

（ ）さんのファイル 記入者氏名（ ） 続柄（ ） 記入年月日（ 年 月 日）

●行動特性

| |
|---|
| ●得意なこと・興味・関心のあること、物： |
| 自分が欲しい物を探すこと (C) |
| 壁と家具の間に物を入れる、走る、トランポリン、公園、川遊び (A)、ビニールちぎり、DVD(ニモ・ジブリ) (B) |
| 本人用のおもちゃ(ミニカー等)、紙ちぎり、大きなトランポリン(学)、本人用のおもちゃ(ミニカー、動物、小ボ) |
| ●苦手なこと、物： |
| 座ってする作業・課題 |
| 集団活動 (C) |
| ●こだわりのある物、行動： |
| ビニールちぎりをする場所(窓と机の間) (B) |
| 事務室に入りたがる (A) 母親と祖母をソファに座らせ、間に座る(家) 紙ちぎり (C) |
| ●常同行動(いつも決まってる行動、繰り返す行動)： |
| 入室後は、すぐにミニカーをばらまき、並べる (C) →日によるようになった (A、B) |
| ●不安・恐れるもの： |
| 帰りの車に乗るかどうか分からないこと (A) |
| ●予想外の事への反応、急な変化への反応： |
| 母親と話している時に、外に出ようとする。前は泣いていたが、あまり泣かなくなった。横の畑に行くと、落ち着く (|
| ●多動・不注意・衝動性《忘れ物・整理整頓などを含む》 (<input checked="" type="radio"/>) 有 ・ 無 ・ わからない) |
| ●寡動《行動にとりかかれぬ。その場から動かない》 (<input checked="" type="radio"/>) 有 ・ 無 ・ わからない) |
| ●緘黙《人や場面によっては全くしゃべらない》 (<input checked="" type="radio"/>) 有 ・ 無 ・ わからない) |
| ●自傷 (<input checked="" type="radio"/>) 有 ・ 無 ・ わからない) →回数が減った。 |
| (A) 我慢できないといけない時に、頭・胸を叩く |
| (C) 嫌なことがあると、頭を叩く (B) オヤツが待てずにイライラすると、寝転んで泣く |
| ●他害 (<input checked="" type="radio"/>) 有 ・ 無 ・ わからない) |
| 要求が通らない・嫌なことをされると、叩く・頭突き(床や人、隣にいる人)をする(以前よりは減少した) |
| おやつが待てずにスタッフをつねる。自分のスペースの近くにいる児童をつねる。近くにいる教師を叩く(学) |
| ●かんしゃく (<input checked="" type="radio"/>) 有 ・ 無 ・ わからない) |
| (学・あ) 嫌な時は、寝転んでワーワー泣く。→以前よりは減少した (B) |
| ●気になる行動 (有 ・ 無 ・ わからない) |
| ツバを出して遊ぶ(家、学、B、C) くしゃみをして、顔に付け、なめる (C) |
| ●その他(特徴、支援のてがかり) |
| 切り替えが上手になった(学、A、B、C) |
| 個別療育で座ってられる時間が増えた。療育の受け入れがよくなった。(C) |

() さんのファイル 記入者氏名 () 続柄 () 記入年月日 (年 月 日)

●感覚

| |
|--|
| ◇感覚の問題や配慮すべき点（各項目に○をつける） |
| ●視覚（ある ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：光や太陽に反応する、換気扇など回転するものを見る、鏡を見入る、など》 |
| |
| |
| ●聴覚（ある ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：大声や泣き声を嫌う（怖がる）、嫌いな音に対して耳をふさぐ、雨の音など小さな音を騒音に感じる、など》 |
| |
| |
| ●触覚（ <u>ある</u> ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：人に触られることを嫌う、水圧を楽しむ、爪切りをすると痛がる、など》 |
| （学）胸を触る （家）雑誌の紙をちぎって、ばらまく |
| （A）指人形や小さな玩具を、左手に持つことが好き |
| （C）小さなゴム製品（ポケモン）の端っこを噛む （B）凸凹した物を噛む・触る→減少した |
| ●味覚（ある ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：何でも口に入れたがる、異食、偏食、など》 |
| （学）ソフトビニールの指人形を噛みちぎり、捨てる。 |
| |
| |
| ●臭覚（ある ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：物の臭いを嗅ぐ》 |
| |
| |
| |
| ●温度覚（ <u>ある</u> ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：暑さや寒さに敏感・鈍感》 |
| 暑さは苦手 |
| |
| |
| ●痛覚（ <u>ある</u> ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：痛みに敏感・鈍感》 |
| 痛みに多少鈍感 |
| |
| |
| ●その他 |
| 《例：ぐるぐる回ることが好き、ギュウッと圧迫される感覚を好む、狭い場所が落ち着く、特定の音が苦手、など》 |
| （学）水を床に落として遊ぶ。（家）唾を玩具につける、飛ばす（年2回ブームがある） |
| （C）「高い、高い」、ハンモック、水遊び。「圧覚」が好き。 |
| （B）プール遊び（ホースで水をかけると喜ぶ） |

（ ）さんのファイル 記入者氏名（ ） 続柄（ ） 記入年月日（ 年 月 日）

●学習・作業能力など

◇幼児期は活動。学齢期は科目。成人期は作業・仕事として得意および不得意を記入します。

●得意な科目・活動・作業・仕事

●不得意な科目・活動・作業・仕事

音楽（お母さんと一緒に音楽）、体育

細かい作業

●運動能力（動作や手先の器用さ・バランスなど）

バランスが良い

模倣が得意ではないので、両手を繋いで跳ぶことを教えたい。(C)

●特に秀でた能力（記憶・音楽・絵画など）

記憶力が良い。相手の表情を、読み取ることができるようになった。

●落ち着く過ごし方

(学) 学習エリアでオモチャで遊ぶ。背中をさする。(家) 好きなDVD(ジブリ、お母さんと一緒に)を観る

(A) 一人で遊ぶ、慣れた大人と遊ぶ、友達と遊ぶ

(B) ビニールちぎり、DVDを観る (C) 自分のペースで過ごす

●避けた方がよい関わり方など

「駄目」「×」のみを言わず、「○」も伝える。

●困ったときや嫌なときの態度・様子

動かない(B)、動かない時がたまにある(A)、声を出さず(トーンが違うので分かる)(C)

●喜ぶこと・物・関わり方

追いかけっこ、身体をくすぐる、スタッフと触れ合う(B)

療育後に、好きな物で遊べるように写真カードで提示している(C)

勉強の後の遊び、着替え後のトランポリン(学)

()さんのファイル 記入者氏名() 続柄() 記入年月日(年 月 日)

_____さんに関わっている人たち一覧

●療育(心理・言語・運動などの外来相談、民間の療育機関など)

| 所属名・利用期間 | 担 当 | 連 絡 先 | 備 考 |
|----------|-----|---------|-----|
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |

●福祉サービス(日中一時支援事業、ホームヘルプ事業、ショートステイなど)

| 所属名・利用期間 | 担 当 | 連 絡 先 | 備 考 |
|----------------------------|--------|---------|-----|
| 放課後デイサービス事業所 A 平成30年4月~ | E F | TEL () | |
| 放課後デイサービス事業所 B 平成30年5月~ | G | TEL () | |
| 放課後デイサービス事業所 C 平成28年9月~ | H | TEL () | |
| D相談支援事業所 ~ | I | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |
| ~ | | TEL () | |

()さんのファイル 記入者氏名() 続柄() 記入年月日(年 月 日)

●支援経過 (R1年7月9日～R2年3月10日)

| 課題 | 具体的支援 | 家 | 学校 | 放課後等デイサービス事業所A | 放課後等デイサービス事業所B | 放課後等デイサービス事業所C |
|---------------------------|--|--|---|--|--|---|
| ① トイレトレーニング | 自発的に行くことを増やす | サインは出ていない。1時間半持つこともある。トイレで数回、大便秘成功した。つなぎハジヤマなので、自発的にトイレに行くことはない。 | ほぼ自立。1～2時間程度もつようになった。 | 学校からAに到着時、オムツに排尿していることが半数。排尿していない時は、トイレ誘導。自発が増えている。排便の成功も増えている。 | 1時間で誘導。自発的に行くことが増えている。自発サインはない。 | 1～1時間半で誘導。戸外活動中に、失敗することがある。自分でトイレに行くことが増えている。 |
| ② スプーン、フォークを使って食べる | スプーンに食べ物を入れておくと、自分で口に運ぶ。フォークに食べ物を刺すと、自分で口に運ぶ。 | 変化なし。熱々にしておくと、スプーン・フォークで食べる。(ぬるいと手で食べる)フォークを使うことが多い。 | 本人が食べだすと、スプーン、フォークを渡す。それ以降は、スプーン、フォークを使って最後まで食べる。 | レンジで温めた唐揚げやカップラーメン(他の物を食べない時のみ)は熱いとフォークで食べる。(無理強いや声かけはしない)カップラーメンは指で熱さを確認する。サバが好き。 | 手づかみが多い。 | トンカツはフォークに刺しておくと、自分で食べる。カレーはご飯とルーは別々に食べる。一口大にハサミで切る。フォークに食べ物を指しておくと食べる。座れる時間が長くなった。 |
| ③ 駄目を伝える | ことば、ジェスチャー、絵カードで伝える | ことばで伝えているが、かんしゃくが多い。 | 絵カードで「×」と「○」を提示している。何が駄目で、何がよいかを伝える。 | ことばで伝えているが、スタッフによって、効果が異なる。 | ことばとジェスチャーで伝えている。 | ことばとジェスチャー(絵カードの使用を検討する)だが、「駄目」を伝えることが少なくなった。 |
| ④ 胸を触らせないようにする | 胸を触ってきた時は、本人の手を持って、他のところに持って行く。本人の気持ちを、他にそらす。大人が本人の身体を触ってあげる。等 | 触ることは減った。 | 集団の学習中に多い。隣にいる教師の胸を、笑いながら触ろうとする。 | 特定のスタッフ(週2回)にする。「駄目」と言い、その場から離れる。回数は減っている。 | 回数は減っている。胸に手がきた時に、本人の気持ちを紛らすように関わっている。 | ほぼ触らなくなった。 |
| ⑤ 本人から発信するコミュニケーション手段を増やす | 好きな活動や食べ物等の写真カード等を使って、本人から大人に要求を伝える。 | 食べたい時は、本人からの要求がある。(クレーン・靴を履く・母親にバックを持たせる等) | 本人の学習エリアに「遊びカード(写真)」をボードに10種類程度貼っておくと、本人が選び、教師に持って来る。(絵カード交換式コミュニケーション) | 選択肢を増やす(おやつ等) | クレーンで要求する。必要な時は、スタッフが選択肢(実物)を提示する。パンやおやつを食べたい時は、「開けて」のジェスチャーをする。 | コミュニケーション手段としては、絵カードを使用している。選択肢や支援者からの関わりの方なので、今後本人からの表出手段として利用できればと考えている。 |

～人と支援をつなぐ～

B君 サポートファイル

り あ ん



「りあん」とは？

「りあん」とは、フランス語で「^{きずな}絆」を意味します。
つながりを広げながら、よりよい支援に役立てていけることを願
って作成されました。

北九州市

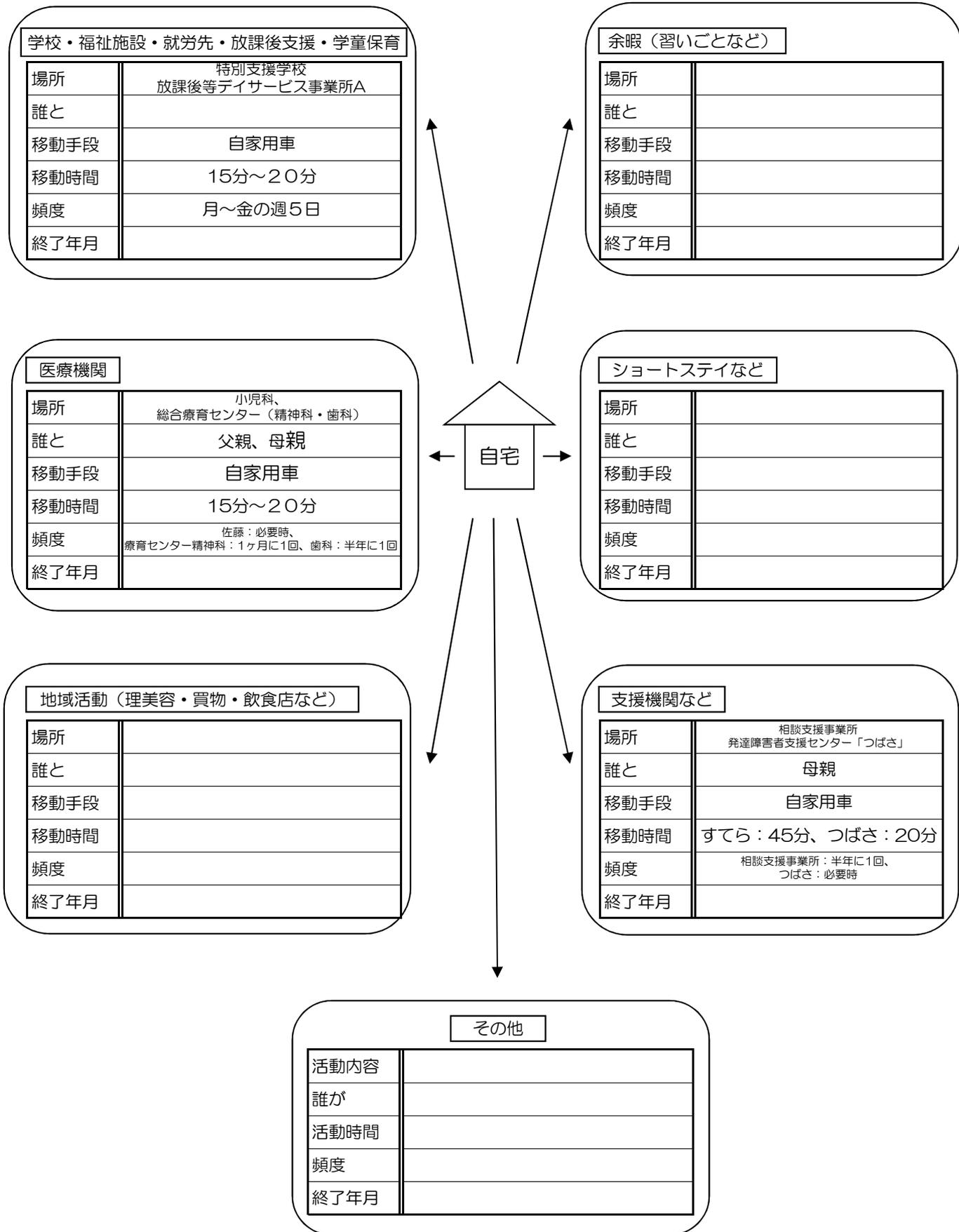
●現在のスケジュール

(年 月 日 現在)

| 平日 | | | | | 休日 | | |
|-------|---|---|---|--------------------------|---|---|---|
| 4:00 | 就寝 | | | | 4:00 | 就寝 | |
| 6:00 | | | | | 6:00 | | |
| 8:00 | 起床・朝の準備・朝食・服薬・登校 | | | | 8:00 | 起床・朝食・服薬 | |
| 10:00 | | | | | 10:00 | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスA (土曜日:16時まで) ・自由時間(DVD、おもちゃ、YouTube 等) | |
| 12:00 | 学校 | | | | 12:00 | 昼食・外食 | |
| 14:00 | 下校(月木金15:15、火13:15、水14:30) | | | | 14:00 | 余暇活動 (公園、散歩、ドライブ、買い物等) | |
| 16:00 | 放課後等デイサービスA | | | | 16:00 | | |
| 18:00 | 帰宅・自由時間(アンパンマンのDVD・YouTube) | | | | 18:00 | 夕食・自由時間(DVD・YouTube) | |
| 20:00 | 夕食・自由時間(DVD・YouTube) | | | | 20:00 | 夕食・自由時間(DVD・YouTube) | |
| 22:00 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨き・入浴 自由時間(布団で過ごす) | | | | 22:00 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨き・入浴 自由時間(布団で過ごす) | |
| 24:00 | 就寝 | | | | 24:00 | 就寝 | |
| 2:00 | | | | | 2:00 | | |
| 週間予定 | 月 子校 放課後等デイ サービス事業所 A (15:15~) | 火 子校 放課後等デイ サービス事業所 A (13:15~) | 水 子校 放課後等デイ サービス事業所 A (14:30~) | 木 学校 (15:15下 校) | 金 子校 放課後等デイ サービス事業所 A (15:15~) | 土 放課後等デイ サービス事業所 A (10:00~ 16:00) | 日 |

●現在の生活地図（ 年 月 日 現在）

- ※ 普段の生活の範囲などを記載します。
- ※ 支援者が自宅へ訪問の場合は、その他に記入します。



(B) さんのファイル 記入者氏名 (続柄) 記入年月日 (年 月 日)

●私の姿 (年 月 日 現在)

※ 本人が望んでいることを記入します。

私が安心できる場所や時間は

- 1 自分の家 (家)
- 2 専用の個別ブース (放・学)
- 3 セラピーマットの上 (学)

私が嫌な場所や時間は

- 1 病院 (家)
- 2 騒がしい所
- 3 人混み (学)

私が好きな事は

- 1 動画やテレビを見る
- 2 テラス遊び (放)、外での活動
- 3 アンパンマンの本を見る (学)



私が苦手な事は

- 1 病院での検査や健診 (家・学)
- 2 人が多く、騒がしい場所
- 3 見通しが立たない事柄 (学)

私がやりたいことや希望は

- 1 外で、身体を動かすこと
- 2 ダイナミックな遊び
- 3

過ごしやすいようになるために

- 1 布団を敷き、自由に過ごす (家)
- 2 個別のブースを作る (放・学)
- 3

信頼できる人に伝えたい事は

- 1 メリハリのある接し方をしてほしい。(ダメな時は注意し、褒める時は褒める。)
- 2 パニックになっている時には、声かけを控え、見守ってほしい。(学・放)
- 3 自傷行為や他傷行為があるので、怪我のないように、側で見守ってほしい。(放)

いいところみつけ

性格・〇〇が得意・〇〇がすき・いいところたくさん書いてみよう！



笑顔が素敵

パワフル

歌や踊りが好き



挨拶が上手

元気いっぱい

外遊びが好き

(B) さんのファイル 記入者氏名 () 続柄 () 記入年月日 (年 月 日)

II. 現在の状態 ①

●所属機関

| | |
|------------|----------|
| 所属機関名（学年）： | 所属機関先： 〒 |
|------------|----------|

●健康

| |
|---|
| ●身長（ ）cm ・ 体重（ ）kg ・ 平熱（ ）度 |
| ●現在の健康状態 < 心臓疾患・てんかん発作・ぜんそく発作・アトピー・その他の疾患（ 乾燥肌 ） > 具体的な症状と対処方法 4月は、体調を崩しやすい。冬はインフルエンザにかかりやすい。体調不良時は、小児科を受診 冬場は、肌が乾燥し、痒くなるので、皮膚科で処方された塗り薬を塗っている。 |
| ●アレルギーの有無 < 食物・動物・植物・ハウスダスト・その他（ ） > 具体的な症状と対処方法 今は、特にない。幼少期は、牛乳と卵アレルギーがあった。 |
| ●服薬の有無 < <input checked="" type="radio"/> 有・無 > ※医療機関に関する情報は、P28 へ。 管理・服薬の仕方： 服薬管理は、母親が行っている。薬は、粉薬だと飲むことができる。 錠剤は、飲むことができない。 |
| ●「痛み」「不快」（頭痛・歯痛・吐き気・熱・鼻血などの症状）の訴え方 観察のポイントと対処方法： 痛みは、自分から、時々、口頭で伝えてくる。本人が「きつい」と言う時は、体調を崩す前触れである。（家） 転んだ時に、「痛い」と言うことがある（学） |
| ●治療に関しての特記（治療に関する約束や手順など） 待つことが苦手なため、素早く対応して欲しい。 |
| ●睡眠について 週末は、睡眠リズムが崩れやすい。次の日が、休みではないとき、明け方まで、眠れずに起きていることがある。 夜中の2時に目を覚まして、テレビをつけてと、要求してくることもある。 |

●食事

| |
|--|
| ●食欲や偏食（ あり <input checked="" type="radio"/> なし ） 食欲は、ある。（家） 学校の給食も、完食している。（学） |
| ●好きな食べ物・飲み物（成人期の場合は、嗜好品も含む） 魚や肉、お茶が好きである。野菜のみは食べないが、調理すると食べる（家） じゃがいもやパンの耳が好き。（学） 甘いもの・ホイップクリーム・リンゴジュース・カフェオレが好き。（放） |
| ●苦手な食べ物・飲み物 炭酸飲料は、飲めない。野菜単体は食べないが、調理すると食べる（家・放） 一気に飲み干すが、牛乳はあまり好きではない。（学） |

(B) さんのファイル 記入者氏名（ ） 続柄（ ） 記入年月日（ 年 月 日）

●日常生活能力

| 項目 | 一人でできる | 部分的にできる | できない | 備考（必要な援助等） |
|---------------------|--------|---------|------|-------------------------------------|
| 例) 服を着る | | ○ | | 例) ボタン付きの服は使えない |
| ●食事 | | | | |
| 1 スプーンやフォークで食べる | | ○ | | 声かけが必要（家） 上手握りで食具をもつ（学） |
| 2 箸で食べる | | | ○ | |
| ●排泄 | | | | |
| 1 トイレで排尿する | | ○ | | 自分から行く（家）30～40分ごとの定時排尿（学・放） |
| 2 トイレで排便する | ○ | | | 自分から、便意を伝える。（学・放）仕上げ拭きが必要。 |
| 3 排尿・便の後始末を適切にする | | | ○ | |
| 4 生理の後始末をする | | | | |
| ●セルフケア | | | | |
| 1 顔を洗う | | | ○ | 母親が顔を拭いている。 |
| 2 歯磨きをする | | ○ | | 父母が行う。（家） 本人が行ったあとに、仕上げ磨きをする。（学） |
| 3 髪を整える | | | ○ | |
| 4 ひげを剃る | | | ○ | |
| 5 爪を切る | | | ○ | 本人が寝ている時に、母親が行う。 |
| 6 入浴し、髪や体を洗う | | | ○ | |
| 7 体を拭いたり、髪を乾かす | | | ○ | |
| 8 不調を訴える | | ○ | | |
| 9 汚れた衣服を自発的に着替える | | | ○ | |
| 10 薬の管理をする | | | ○ | |
| ●着脱 | | | | |
| 1 服を脱ぐ | ○ | | | 衣服の前後が、逆になっていることが多い。（家・学） |
| 2 服を着る | ○ | | | マークを提示して、衣服の前後を、意識づける。（学） |
| 3 季節やTPOに合わせた服を選ぶ | | | ○ | |
| 4 靴下や靴を履く | | | ○ | |
| ●家事 | | | | |
| 1 洗濯をする | | | ○ | |
| 2 掃除をする | | | ○ | |
| 3 食器を洗う | | | ○ | |
| 4 買物をする | | | ○ | |
| 5 簡単な調理をする | | | ○ | |
| ●その他 | | | | |
| 1 ひとりで留守番をする | | | ○ | |
| 2 戸締りをする | | | ○ | |
| 3 金銭管理をする | | | ○ | |
| 4 公共交通機関を利用する | | | ○ | |
| 5 電話をかける | | | ○ | |
| 6 時計を見て時間がわかる | | | ○ | |
| 7 カレンダーを見て月日や曜日がわかる | | | ○ | |
| 8 スポーツや旅行など趣味の活動を行う | | | ○ | |
| 9 火や刃物などの危険物を認知する | | | ○ | |
| 10 自由な時間を一人で過ごす | | ○ | | 見守りは必要だが、DVDや動画を一人で見る。（家） |

(B) さんのファイル 記入者氏名 (

続柄

) 記入年月日 (

年 月 日)

●人との関わり

| |
|--|
| ●家族との関わり： <ul style="list-style-type: none"> ・日常的によく使う言葉（～へ行ってきます、～をください）を理解し、言うことができる。 ・父親に対して、額を叩いたり、鼻を押したりすることがある。 |
| ●友人（同世代の人）との関わり： <ul style="list-style-type: none"> ・他者にあまり、興味を示さない。（家）同じクラス特定のの人に、自分から関わるが増えてきている（学・放） |
| ●周りの大人（先生や支援者など）との関わり： <ul style="list-style-type: none"> ・「コチョコチョしてください」と、自分から担任に言う。担任以外に、他の先生と関わる事が、少ない。（学） ・特定の方（小柄で可愛く、遊んでくれる人）に、「コチョコチョしてください」と、言う。（放） |
| ●知らない人との関わり： <ul style="list-style-type: none"> ・関わりを通して、少しずつ受け入れる。気にかけてくれる人、明るい人、一緒に遊んでくれる人が、好き。（家） ・新しい職員でも、受け入れることができる。（放） |
| ●社会的常識・ルール理解： <ul style="list-style-type: none"> ・してはいけないことを、あえて行い、気を引く様子が見られる。（学・放） |

●コミュニケーション

| | |
|---|--|
| ◇主なコミュニケーションの方法（○をつける） 実物 絵 写真 文字 言葉 ジェスチャー その他（ ） | |
| ●本人から相手に伝えるとき | ●相手から本人へ伝えるとき |
| 《要求》 <ul style="list-style-type: none"> ・口頭で、伝える（家） ・文章を、ひとつのセンテンスとして覚えており、自分で言葉で伝える。自分で、具体物を持ってきて、「いいですか」と聞く時もある。（学） | 《要求》 <ul style="list-style-type: none"> ・すべき事の、流れをだまかに決めておく。具体物を、定刻に提示して、声かけをする。（家） ・本人専用のスケジュール（文字と写真付き）を活用する。具体物を指さしながら、言葉かけを行う。（学校） ・声かけを行う。（放） |
| 《注意喚起》 <ul style="list-style-type: none"> ・両親の近くに行き、声を発する。（家） ・鼻を鳴らして、気をひく。（学） ・鼻を鳴らしたり、失禁したりして気を引く（放） | （《注意喚起（気づいてほしいとき）》 <ul style="list-style-type: none"> ・声かけで、呼ぶ。「～するから、来て」と具体的に伝える（家） ・呼ぶと、振り向き、こちらに注意を向ける（学） ・失禁したり、水遊びをしたりして、気をひく。（放） |
| 《拒否の仕方》 <ul style="list-style-type: none"> ・「行かん」「嫌」と言ったり、動かなかったりする。（家・放） ・嫌なときに、鼻を鳴らす、寝転ぶ（学） ・陰部を触る。肩間にしわが寄る。（放） | 《してはいけないことの伝え方》 <ul style="list-style-type: none"> ・「だめ、危ない」と口頭で伝える。「～したら、病院よ」と、具体的に伝える。（家） ・言葉で、代案を提示する。指で×を示す。（学） |
| 《その他（特徴、支援のてがかり）》 | 《その他（特徴、支援のてがかり）》 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

(B) さんのファイル 記入者氏名 () 続柄 () 記入年月日 (年 月 日)

●行動特性

| |
|---|
| ●得意なこと・興味・関心のあること、物： |
| ・アンパンマンのDVD、身体を動かすこと、YouTube、音楽に合わせて踊る（家・学） ・テラス遊び、外出（放） |
| ●苦手なこと、物： |
| ・病院、待つこと。 |
| ●こだわりのある物、行動： |
| ・靴下を履かない、物をばら撒いて、散らかして遊ぶ。（家） ・性器を触る。鼻を鳴らす。（学・放） |
| ●常同行動（いつも決まってる行動、繰り返す行動）： |
| ・NHKの好きな歌が流れると、歌ったり、踊ったりする。 |
| ●不安・恐れるもの： |
| ・見通しが見つからない事柄。（家・学・放） ・病院や白衣の人（家・学） |
| ●予想外の事への反応、急な変化への反応： |
| ・急な変更も受け入れることができる。（学） |
| ●多動・不注意・衝動性《忘れ物・整理整頓などを含む》（有・無・わからない） |
| ・思い立ったら、すぐに動く。遊びの延長で、家や車から、出ていこうとする。（家） ・追いかけて欲しい時に、突然走り出す。（学） |
| ●寡動《行動にとりかかれぬ。その場から動かない》（有・無・わからない） |
| |
| ●緘黙《人や場面によっては全くしゃべらない》（有・無・わからない） |
| |
| ●自傷（ <input checked="" type="radio"/> 有）・無・わからない） |
| ・頭を壁や床に、打ちつける。腕の決まった箇所を噛む、鼻を叩く、ひねる（家・学・放） |
| ●他害（ <input checked="" type="radio"/> 有）・無・わからない） |
| ・父母に噛みつく。（家） ・担任（学）、近くにいる人（放）に、噛みつく。友達に対しては、ほとんどない。 |
| ●パニック（ <input checked="" type="radio"/> 有）・無・わからない） |
| ・怒りすぎたとき、負荷がかかっているとき、突然パニックを起こす。（家） ・足をバタバタさせて、床に打ちつけ、寝転んで泣く。（家・学・放） |
| ●気になる行動（ <input checked="" type="radio"/> 有）・無・わからない） |
| ・頭を打ちつけたり、自分で自分の首を絞めること。（家） ・性器を触ること。（学・放） |
| ●その他（特徴、支援のてがかり） |
| |

(B) さんのファイル 記入者氏名 () 続柄 () 記入年月日 (年 月 日)

●感覚

| |
|--|
| ◇感覚の問題や配慮すべき点（各項目に○をつける） |
| ●視覚（ある ・ 特になし ・ <u>わからない</u> ） |
| 《例：光や太陽に反応する、換気扇など回転するものを見る、鏡を見入る、など》 |
| ・急に、遠くを見たり、太陽などの光を見たりする。（家・放） |
| ●聴覚（ <u>ある</u> ） ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：大声や泣き声を嫌う（怖がる）、嫌いな音に対して耳をふさぐ、雨の音など小さな音を騒音に感じる、など》 |
| ・友達が調子を崩した声が苦手である。騒がしい声やザワザワした場所が、苦手である。 |
| ●触覚（ <u>ある</u> ） ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：人に触られることを嫌う、水圧を楽しむ、爪切りをすると痛がる、など》 |
| ・爪切りを嫌がる。水遊びが、好きである。（家・学・放） |
| ●味覚（ある ・ <u>特になし</u> ） ・ わからない） |
| 《例：何でも口に入れたがる、異食、偏食、など》 |
| |
| |
| ●臭覚（ <u>ある</u> ） ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：物の臭いを嗅ぐ》 |
| ・人や、触った物、の匂いを嗅ぐ。（家・学・放） |
| ●温度覚（ <u>ある</u> ） ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：暑さや寒さに敏感・鈍感》 |
| ・寒いと訴えることができるようになってきている。寒さが苦手である（家） |
| ・雨の日や、湿度が高い日は、調子がよくないことが、多い。暑さが苦手である。（学・放） |
| ●痛覚（ <u>ある</u> ） ・ 特になし ・ わからない） |
| 《例：痛みに敏感・鈍感》 |
| ・痛みに対しては、鈍感である。（家・学・放） |
| ●その他 |
| 《例：ぐるぐる回ることが好き、キューッと圧迫される感覚を好む、狭い場所が落ち着く、特定の音が苦手、など》 |
| ・長時間、暗い環境にいることを、嫌がる。（家） |

(B) さんのファイル 記入者氏名 () 続柄 () 記入年月日 (年 月 日)

●学習・作業能力など

◇幼児期は活動。学齢期は科目。成人期は作業・仕事として得意および不得意を記入します。

| ●得意な科目・活動・作業・仕事 | ●不得意な科目・活動・作業・仕事 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・制作（糊付けや、スポンジスタンプなど）が好き。 ・リトミック、音楽、リズムに合わせて踊ることが好き。 ・興味のある本（アンパンマンや乗り物）の読み聞かせが好き。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が、分かりにくいこと、見通しをもてないことが苦手 ・学校の授業で、今は、体育が嫌な様子である。（物理的環境が要因） |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| ●運動能力（動作や手先の器用さ・バランスなど） | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・腹筋・背筋・前転等ができる。 ・平均台が、上手である。 ・手先も器用で、ねじ回しやストロー差し、直径2cmのボタン留め等ができる。 | |
| ●特に秀でた能力（記憶・音楽・絵画など） | |
| | |
| | |
| | |
| ●落ち着く過ごし方 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・布団の上で、動画やテレビを見る。（家） ・個別のスペース近くに、自分でセラピーマットを敷いて、マットの上でゆっくり過ごす。（家） ・個別のスペースや空間（学・放） | |
| ●避けた方がよい関わり方など | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・無理強いや、避ける（家） ・急な制止や抑止は、嫌がる。本人の注意を、こちらに向けてから、声かけを行う。（学） | |
| ●困ったときや嫌なときの態度・様子 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・困ったときは、自分で拒否をする。（家） ・嫌な時は、表情にでる。（学） | |
| ●喜ぶこと・物・関わり方 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ダイナミックな遊びが好き。また、水遊びや泥遊びも好き。（家・学・放） ・コチョコチョをされたり、アンパンマンの本やDVDを見たり、動物絵合わせカードをしたりすることが好きである。（家・学・放） | |

(B) さんのファイル 記入者氏名 () 続柄 () 記入年月日 (年 月 日)

●支援経過

(R元年6月25日～R元年11月8日)

| 課題 | 具体的支援 | 家 | 学校 | 放課後デイ | | |
|--------------------------|---|--|--|---|--|--|
| ①トイレトレーニング | 定時誘導を促す。 日中は、布パンツを利用する。 | オムツで過ごしていることが多い。定時誘導で、排尿することが多い。 | 30分～40分間隔で誘導する。教師と一緒にに行く。日中は、布パンツで過ごしているが、下校時や校外学習時は、オムツで過ごしている。 | 学校から事業所に到着時、オムツに排尿していることもある。排尿していない時は、トイレ誘導。30分間隔で、誘導している。遊びの延長で、失禁することもある。 | | |
| ②人前で、性器を触ることを減らす。 | 父親や男性職員付き添いの元、性器を触る場所や空間を限定する。本人の気持ちを、他にそらす。 | イライラや不安が募った時に、触ることが多い。父親の協力の元、場所をトイレに限定する。「ダメ」と制止されると、性器を触る。 | 活動が嫌な時、周囲が騒がしい時に、性器を触る。男性職員がトイレへ誘導するが、制止されると、他害(噛みつき)やパニックに繋がる時がある。 | 周囲が騒がしい時に、性器を触ることがある。トイレや個別のスペースに場所を限定するが、制止されると、他害(噛みつき、叩く)がある。 | | |
| ③落ち着いて過ごすことができる日を増やす。 | パニックの背景要因に、目を向ける。 苦手な環境や刺激は、できる限り減らし、環境を整える。 活動の見通しが持てるように、スケジュールや写真カードを用いて、提示する。 | 怒りすぎた時や、負荷をかけ過ぎると、パニックに繋がる。本人の好きな、外遊びや、外出をしている。 | 性器を触ることを制止されると、パニックになる。 写真カードで、活動の見通しを伝える。楽しみを促みに、活動に取り組む。 (プール・水遊び) | 安心して過ごせるように、個別のスペースを作り、環境の工夫を行う。テラス遊びなど本人の好きな活動を取り入れる。行事が好きである。 | | |
| ④本人から発信するコミュニケーション手段を増やす | 具体物を用いて、「～をください」と言う、やりとりをする。 写真を提示して、「～へ行ってきませう」と言う練習をする。 | 具体物を提示して、「～をください」と言う、やりとりを行う。 | 図書室へ行く際に、語頭を伝えると、自分で伝える。特定の職員や友達に、「～してください」と関わりを求める。 | 具体物や写真カードを提示しながら、話す。単語での、やり取りの練習をする。 | | |
| ⑤生活リズムを整える。 | 睡眠・生活リズム表を活用し、家庭・学校・放課後デイサービスで、共通理解を図る。 日中、体を動かす活動を、積極的に取り入れる。 | 睡眠リズム表に、睡眠時間を記入する。 精神科受診の際に、医師に渡す。生活リズム表に、パニックの有無等を書く。 | 生活リズム表に、パニックの有無等、本人の学校での様子を、記入する。 プールや体育等、体を動かす活動を取り入れる。 | 生活リズム表に、パニックの有無等、本人の放課後デイでの様子を、記入する。 テラス遊びを行うなど、体を動かす活動を取り入れる。 | | |